

南ア月報
(2020年2月)

【内政】

- ズマ前大統領に対する逮捕状の発出
- ラマポーザ大統領による施政方針演説

【外政】

- メルケル・ドイツ首相の南ア訪問
- ラマポーザ大統領の AU 総会（於：エチオピア）出席
- 南スーダン統一政権発足に関するラマポーザ大統領の声明
- ラマポーザ大統領による武漢からの南ア国民退避の決定

【経済】

<経済指標>

- 消費者物価指数（CPI）
- 為替レート
- 製造業生産高
- 鉱業生産高

<出来事>

- 2020年財政演説
- 2019年第4四半期失業率の発表

【警備】

- ブルーライト強盗の検挙

1 内政

●ズマ前大統領に対する逮捕状の発出

4日、ピーターマリッツバーグ高等裁判所はズマ南ア元大統領に対し、健康問題を理由に法廷出頭を拒むズマ氏の欠席事由に疑義があるとしつつ、逮捕状を発行する旨を発表した。2020年5月6日の法廷に出廷しない場合、ズマ氏は逮捕される見込み。なお、今回の逮捕状は、1990年代にズマ氏のANC副総裁及び副大統領時代の収賄問題に対するものである。

●ラマポーザ大統領による施政方針演説

13日、ラマポーザ大統領はケープタウンで開催された国会において施政方針演説を行った。冒頭、野党EFF（経済的解放の闘士）議員が再三にわたり議事を妨害し、最終的には同党国会議員全員が議場から退出した後、演説は予定より1時間30分遅れで開始された。マレマEFF党首は、デクラーク元大統領が施政方針演説の数日前に講演にて「アパルトヘイトは人道に対する罪ではなかった」と発言したことを批判し、同元大統領の退任を要求、さらにESKOMの混乱の責任を追及するとしてゴードン公共企業大臣の解任を大統領に求め、議長等との押し問答が延々続いた。

演説において、ラマポーザ大統領はESKOM外の企業等が発電施設を建設、グリッドにつないで売電することを可能にするとの方針を表明した。

2 外政

●メルケル・ドイツ首相の南ア訪問

5日から7日にかけて、メルケル・ドイツ首相が南アを公式訪問し、ラマポーザ大統領と会談を行った。また、この機会に両首脳は、南ア・ドイツ・ビジネスラウンドテーブルの共同議長を務め、両国の閣僚及びビジネス代表団が参加した。

●ラマポーザ大統領のAU総会（於：エチオピア）出席

9日から10日にかけて、ラマポーザ大統領はAU総会に出席するためエチオピアを訪問し、AU議長国への就任を受け入れる旨の演説を行った。演説の中で、ラマポーザ大統領は、アジェンダ2063の実現に向けてアフリカ諸国が協力することや、女性のエンパワーメントを推進することの重要性を強調した。また、ラマポーザ大統領は、本年5月にアフリカ大陸自由貿易圏(AfCFTA)に関する第13回AU特別総会と2020年までの紛争停止(Silencing the Guns)の進捗状況を確認するための特別会合を連続して主催することを表明した。

●南スーダン統一政権発足に関するラマポーザ大統領の声明

20日、ラマポーザ大統領は声明を発表し、AU議長として、キール南スーダン副大統領とマシャールSPLM-IO指導者が暫定統一政府の樹立に合意したことを歓迎した。この発表は、第33回AU総会のマージンでラマポーザ大統領がキール大統領及びマシャール指導者と別々に会談し、再活性化された衝突解決合意(R-ARCSS)の実施を急ぐよう促した約2週間後になされた。ラマポーザ大統領は、暫定統一政府の樹立が南スーダンの平和と安定のための重要な一歩になったと述べた。

●ラマポーザ大統領による武漢からの南ア国民退避の決定

27日、ラマポーザ大統領は、武漢に在留する199名のうち希望する132名の南ア国民を南アに退避させることを発表した。待避を希望する南ア国民のうち、新型コロナウイルスへの感染が確認されている人も症状を呈している人もいないものの、帰国した人は、予防

的措置として 21 日間隔離される。

3 経済

<経済指標>

●消費者物価指数 (CPI)

2020 年 1 月の消費者物価指数 (CPI) は、前月に比べ 0.3% 上昇。年間消費者物価インフレーション率は 4.5% と前月に比べ 0.5% 上昇。(南ア統計局、2 月 19 日)

●為替レート

2020 年 2 月 28 日付 (南ア準備銀行)

6.9709 ランド/円

15.6171 ランド/米ドル

17.2170 ランド/ユーロ

●製造業生産高

2019 年 12 月の製造業生産高は、前年同月比 5.9% 減。主なマイナス要因は、自動車及び輸送機器関連製品で 24.9% 減、石油、化学製品、ゴム、プラスチック製品で 5.9% 減、木材および木材製品、紙、出版及び印刷で 9.9% 減。また過去 3 ヶ月 (10~12 月) の季節調整後生産高は 7~9 月からの生産高より 2.8% 減。

2019 年の製造業生産高は、2018 年に比べ 0.9% 減。主なマイナス要因は、木材および木材製品、紙、出版及び印刷で 4.8% 減、鉄鋼、非金属製品、金属製品及び機械で 1.8% 減、石油、化学製品、ゴム、プラスチック製品で 1.5% 減。

(南ア統計局、2 月 11 日)

●鉱業生産高

2019 年 12 月の鉱業生産高は、前年同月比 1.8% 増。主なマイナス要因は、金で 24.9%、その他非金属鉱物で 24.1% 増、鉄鉱石で 9.8%、クロム鉄鉱で 26.6% 増。また過去 3 ヶ月 (10~12 月) の季節調整後生産高は 7~9 月からの生産高より 0.2% 減。

また、2019 年の鉱業生産高は、2018 年に比べ 1.3% 減。

(南ア統計局、2 月 13 日)

<出来事>

●2020年財政演説

26 日、ムボウエニ財務大臣は 2020 年度財政演説を行い、2020 年度の歳入額 1 兆 5、800 億ランド、歳出額は 1 兆 9、500 億ランド、財政赤字は 3、705 億ランドとなる見込みと発表。また、累積財政赤字は、3 兆 5、600 億ランド (GDP 比 65.6%) となる見通し。VAT 含め大幅な増税はないものの、公的セクター賃金法等により 3 年で 2、610 億ランドの支出削減を発表。また、そのうちの 600 億ランドは Eskom と南ア航空の救済に充てられる。

●2019年第4四半期失業率の発表

11 日、南ア統計局は 2019 年第 4 四半期 (10~12 月) の失業率を発表した。この時期、失業率は 29.1% と、第 3 四半期 (7~9 月) から変化はなかった。第 3 四半期と比較し、雇用増加は 4 万 5 千人であり、自治体・社会福祉で 11 万 3 千人、金融で 7 万 6 千人、運輸で 3 万 6 千人の雇

用が増加した。他方、商業で15万9千人、製造業で3万9千人、公共事業で1万4千人の雇用が減少した。15歳から24歳の若年層の失業率は58.1%と依然として高い数値になっている。

4 警備

●ブルーライト強盗の検挙

8日、プレトリア北方に位置するマボパネにおいて、ブルーライト強盗（カージャック）犯人が逮捕され、青色灯火をダッシュボードに置いた偽覆面パトカーが押収された。強奪された被害車両も同じ場所で見つかった。犯人らは、被害者が友人宅の外に駐車したところに後方を塞いで停車し、詐欺捜査班を名乗って被害者を犯行車両に押し込み、被害車両を強奪してソシヤングベへ向かい、被害者を解放した。その後、被害車両搭載のトラッキングデバイスにより警察が位置を特定して、犯人の逮捕につながった。